

会則見直し 順調に進む 第10回禅文化学林

(総合企画・事業研修委員会)



◀総合企画委員会
会則の見直しで議論白熱
夜9時をまわる
(8月28日宗務庁研修道場にて)



発行所
全国曹洞宗青年会
〒105 東京都港区芝
252 曹洞宗宗務行内
発行責任者 伊藤通江
TEL03-454-5419P

青年僧侶のエネルギーを結集しよう
社会的価値ある活動をしよう
青年僧侶の自覚を促そう
地域における活動の連携を深めよう

「曹青通信」年間購読希望者1000名を超える

(広報委員会)



◀1000枚の購読希望者のカード
を県別に分け、コード番号を
書き込む仕事
(8月29日宗務庁研修道場にて)

目次

事務局だより・大会案内	1
第九回禅文化学林回顧・研修	1
人物紹介：久米宏操	1
我が曹青を語る	3
尼僧団だより	4
意識調査報告	5
	7
	8
	6
	5
	4
	3
	2

49団体・4000余名を網羅し

全曹青会員新名簿作成に全力

(組織委員会)

(各関連記事は2頁)

破草鞋

拜啓 久米宏操
日頃の痛快な解説
ぶりに敬服いたして
おります。ただ、今
日は涙が止まりませ
ん。今回のジャイヤ
ンツの優勝を予測で
きなかったことであ
る。命の賭けをやら
せられた選手が開幕
前からだめだといわ
れ怒ったという。同
じように一生懸命に
努力した選手が、悲
しくなりません。あ
なたは僧侶として、
先日も宗教法人の脱
税の報道にあたり、
あなたは「坊主まる
儲け」なる発言をさ
されてしまいました。
脱税行為は当然です
が、解の余地はなく
非難は当然ですが、
追い討ちをかけるよ
うな発言は、いかか
かでしょう。ただで
さ身がすくむ思いで
視聴していた僧侶に
は耐えがたいもので
した。
「丸刈り」の真意も
お聞きしたいが、坊
主という言葉に限っ
てもこれは差別語で
す。長い歴史の中で
僧侶が権力にたいし
て、悪徳を重ねたり
、威張ったり、庶民
から「坊主」と憎み
のこされたのはほとん
どないのです。無
論、「立派な坊主」と
はいいません。僧侶
に向かっただけで直
接「坊主」と呼ぶこ
ともありません。
大多数の僧侶は「坊
主」の言葉嫌うこと
は追放して欲しいと
願っているのです。
私達も反省します。
税制面の優遇は社会
的存在として期待さ
れているからでしょう
。しかし、それに
応えていないか。た
だ漫然して使命を
忘れていないか。
「くそ」でもなく
「なまぐさ」でもない
存在を青年僧は活
動展開で示します。
見てください。
十月十日 合掌

命の賭けをやらせられた選手が開幕前からだめだといわれ怒ったという。同じように一生懸命に努力した選手が、悲しくなりません。あなたは僧侶として、先日も宗教法人の脱税の報道にあたり、あなたは「坊主まる儲け」なる発言をされてしまいました。脱税行為は当然ですが、解の余地はなく非難は当然ですが、追い討ちをかけるような発言は、いかかでしょう。ただでさえ身がすくむ思いで視聴していた僧侶には耐えがたいものでした。「丸刈り」の真意もお聞きしたいが、坊主という言葉に限ってもこれは差別語です。長い歴史の中で僧侶が権力にたいして、悪徳を重ねたり、威張ったり、庶民から「坊主」と憎みのこされたのはほとんどないのです。無論、「立派な坊主」とはいいません。僧侶に向かっただけで直接「坊主」と呼ぶこともありません。大多数の僧侶は「坊主」の言葉嫌うことは追放して欲しいと願っているのです。私達も反省します。税制面の優遇は社会的存在として期待されているからでしょう。しかし、それに応えていないか。ただ漫然して使命を忘れていないか。「くそ」でもなく「なまぐさ」でもない存在を青年僧は活動展開で示します。見てください。十月十日 合掌

事務局だより

五月二十九日	全日仏青總會	東京
六月二日	各委員会	本庁
六月五日	近畿ソフトボール大会	大阪
六月七日	事務局会	浜松
六月十三日	九州大会	熊本
六月二十二日	四国大会	松山
六月二十三日	仏教海外協力会議	東京
六月二十八日	全日仏青理事會	東京
七月六・七日	全日仏青役員會	東京
七月十七日	組織委員会	名古屋
八月二十八日・二十九日	総合企画委員会	本庁
九月四日	全日仏青理事會	東京
九月五日	奈良曹青、南都二大会	奈良
十月七日	懇親ソフトボール大会	秋田
十月十七日	東北大会	岐阜
十月二十五日	東海大会	神戸
	全日仏青理事會	

総合企画委員会

七月六・七日名古屋八月二十八日・二十九日(本庁)に於て開催され、各議題について慎重審議された。特に、本年度総会に於て指摘され、会則見直しについて、最大限の時間が費やされた。現会則は先輩諸兄の英知によつて作成されたものであるが、発足当時個人加盟であったものが、現在団体加盟を推進している為、一部不合理を生じ、見直しが必要とされた。総合企画委員会としては、伊藤会長の所信表明をふまへ、青年僧侶全員加盟達成を前提とし、より円滑な活動を促進すべく、抜本的改正を試みている為、審議は難航を極め、二十八日は夜九時過ぎまで、熱心に討議された。現在全体の約三分の一を終了し、来春総会にて承認されるべく、努力している。

広報委員会

「曹青通信」六十二号を全国の寺院全に配布し、年間購読者募った所、九月末までに千を超える希望者があり、うれしい悲鳴をあげた。表紙の写真は研修場で本部役員等全員の力を借りて、県別に分け、コード番号をそれぞれに書き別すという二時間にも及ぶ仕事の様子である。また六十二号でお願いをした「曹青通信大集合」も会員諸兄の御協力により無事全号集めることが出来、広報の仕事の重要性をさらに感じた次第である。

組織委員会

未加盟団体への積極的なアプローチはもとより、現在新しく会員名簿の作成に取りかかっている。六月に各単位曹青に名簿の提出を依頼し、集まったところで寺籍番号順に並び替え、印刷に回す手はずである。何とかして年内完成を目指す。

事業研修委員会

現在当委員会では、第十回禅文化青年林について検討中です。過去九回の禅文化青年林は地方大会との併設、授戒会、東南アジアを中心とした海外研修等が行われて、仏教の内部的研修に重点がおかれて来ましたが、本年度は、他宗教と比較から仏教を知る、という試みから、ローマカトリックを選び、その本拠地であるバチカンを訪ね、続いてミラノにある洞門寺院曹青を訪ね、その教化活動を展開したいと思っております。現在平成二年十月を予定しておりますが、ローマ法皇の予定、航空運賃を加味し、決定次第曹青通信にてお知らせいたしますので、奮って御参加下さい。

特別委員会

全曹青は大会担当副理事長として、吉村明仁君を全日仏青に派遣しているが、今期全日仏青大会を、平成二年四月二十六日に東大寺に於て、千僧法要記念タイムカプセル建設法要として行なう事を決定準備中である。千僧法要は前神野会長の下、全曹青が総力を挙げて行なった一大行事であり、五十年後再びこの法要を行なうために、この時期、東大寺に於て開催することは意義深い事と思われ。

関東連絡協議会主催

関東ソフトボール大会

日 十一月八日～十一月九日
場所 群馬県伊香保
連絡先 茨城県水戸市八幡町十一の六十九 祇園寺内
〒310 曹洞宗青年会関東・連絡協議会事務局 ☎0292 (21)5229

いずも大会

日 十一月二十七日～十一月二十八日
場所 松江市ホテル一畑
連絡先 島根県大原郡大東町南村 弘安寺内
〒699-12 中国曹青連絡協議会 ☎08544 (3)5748



89年9月～90年3月

アショカツアーズ特選旅行のご案内

- お釈迦様のみ教えと足跡を慕う
インド仏跡巡拝の旅
328,000円より
東京・大阪発着・全食付・添乗員同行
*ご希望の出発日・日数・コースをお知らせ下さい。豊富な催行決定ツアーの中から一番ご希望に合ったコースをご紹介致します。
 - 微笑みのスリランカ
仏教遺跡巡拝の旅
195,000円より
東京・福岡(10/30より)発着
毎週月・木曜発8日間
2名より出発保障
添乗員は同行しませんが現地係員がお世話致します。
 - 情熱と郷愁のスペイン
ポルトガル・バリ探訪
465,000円 東京・大阪発着
10月7日発 12日間
運輸大臣登録一般旅行業第347号
株式会社 ビーエス観光
一般旅行業務取扱主任者 松浦勝三
〒530 大阪市北区中之島3-6-32 (大ビル1F)
TEL 06-444-2221(代) 444-2225(直)
5月1日発行第60号をご参照下さい。担当/松浦山下
- *その他多数の旅行がございます。お問合せ下さい。早速資料をお送り致します。

第九回禅文化学林・タイ・ネパールの旅を振り返る(中)

農村の生活

タイでも一つ一つの大きな研修が農村視察でした。これは往復ともに夜行車という進行日程のため、オプショナルの旅行として行きました。この参加は二十名でしたが、今に思えば、(不可能なことです)全員参加も検討してもよかったですように思えます。

訪問は小学校を中心に現地の生活を見学しました。小学校はちょうど卒業式でした。タイでは進級試験があり、今年も成績がよくて98%合格とのことでした。各年とも成績優秀者は舞台でまでオリエンタルのように表彰され、今年の卒業生は...

救済の原点

「最近、灌漑用にモーターを二台購入したから見てくれ」と誘われました。行

つてみると中国製の自動車エンジンを改造したモーターと、もう一つは「H」のマークもあまたなホンダ製でした。人間の生活に水はなくてはならないので、治水は暮らしの基礎であります。実はこちら到着の日、歓迎会の席で現地スタッフが、あんなにたがたがしてやがてして、昨日(三月二十八日)、雨が降りましたが、それは今年になって初めて雨と言ったこと。冬の降水量の少なさは農業に直接響きます。タイの人々が何の対策もしていないわけではあります。ダムを作り、水路もりました。しかし、水位の低下にまて、モーターそのものは七、八万円です。それと難しいとは思わ

吉岡博道

研修 第二回

宗門の書『筆痕』

宗門において筆痕を残した祖師の方系統的にみるとまず月舟(元山系)に筆痕が多く、大乗寺が主流であります。結局、元山は弟子が多く、自分は余り書き残さなかつたが、弟子達は自分を超えて書き残し、それを又次の弟子達が書き続けるという「書つまり筆痕を残す」ということが住職たちの必要事項であったと思われる。今回はその月舟下(元山系)の中で、面山(正式には元山の弟子ではないが、随分として)と隠之(道元)二人をあげよう。元山は紹介するまでもなく、元山の『元山廣録』四十九巻と並んでその大著『永福面山和尙廣録』二十六巻は宗門に書いて隠大な語録である。幸い曹洞宗全書に収録されているから、青年僧侶は...

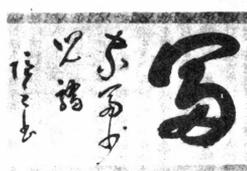
れを左右におき、その詩句に親しむのが一番よい。筆痕の話しか少ししめるが、青年僧は漢文に弱い。禅僧は須らく漢詩を修得して、自分は自給自足の法要等に不便、不安を感じる日がでてくる。従って平生、祖師方の語録にならざるを得ない。最上の漢詩修得方法であるが筆痕は思っている。その名訳で本年四月から静岡県志太地区、志太仏教同志会、諸師に「駿河の禅僧 語録拝読会」を月一回開講している。

いまでもよく元山は月舟(元山)と元山と続く曹洞宗宗師の功業者であり、烈々たる好孝心と道元禪師に対する深い信仰の念は、その語録を拝せば明白であり、特に元山は「道元禪師の筆痕」に対する熱烈な欣求の情があり、珍らしい

れないかも知れません。ところが、この村の人口は一人ですが、年間予算は五百万円にすぎないのです。ここではあまりにも高価なモーターなのです。これは、日本人も数台くらい贈ることは簡単かもしれません。しかし、大切なことはどういったつもりで贈るかであり、贈らないうちか、優越感でしょうか。送つただけで終わりはありませんか。支援に経済はつきませんが、私達のする支援は弱りではないはず。相手を見下げることから出発した支援は私達仏教徒の行方救済ではありません。人間として同格を自覚し、人間らしい暮らしを願つとともに進んで支援できればならぬはず。タイで女性が売られていました。買った

の之を紹介しよう。元山廣録の中に祖師真蹟に関する文が十編あり、その中の一「正徳元年、面山二十九歳の秋、若州空印寺において英安和尚の製制を扶けてから水平寺に参詣し、それから東下する道々、美濃の妙応寺に滞在し、同寺の秘室を住職の突山和尚に請うて拝覧し(一時的記録である。山、使ら手軸を持し出て、之を壁にかけ、自ら香を焚いて九拝す。余も亦、後に隨つて拝を敢く。熟熱する筆の展縮をみるに當つて肥後在るの日、広福寺の坐禪院、流長禅院の四句の偈を拝読する等して功画妙貼、毫も差り所なし。而して紙幅闊さ一尺五寸、堅一尺余、文都て一行となす。次に細書して、今告知事自今以後、若逢午後檀那供飯、留待明日、如其他齋新菓子諸飲等、雖晚猶行乃仏祖如意下乘石也。況夫園之内、有道之勝蹟也。如来曾許雪山僧裏服衣、当山亦許雪山石矣。これを七行半となす。都て七十五字、これを七行半となす。次に開關淨沙門の六字を大書し、下に希玄の二字を細書し、八字を合し一行と爲す。名の下、花押あり、祖山出す所の頂相、自贊の花押を爾く取らざりし也。(原漢文)と記し、書時、薬名を許すの措置につき道元禪師の「山雲水」に対する親切心に感佩の意を表している。この軸巻は現在、岐阜県妙応寺に薬石銘として残つている。その他、京都の旅館で高祖真蹟を店主と交渉し、之を購入したことも、当時の様子などが何處々興味ある語である。このように元山が道元禪師の筆痕をいかに尊重したかといふことは、元山の人格筆痕に顕現し、道元の全身が眼前に人格懸するからといふ。元山の信仰によるものであろう。だから元山は道元の真蹟を十本以上は所蔵していたこと、これを独占所蔵することなく法友達に頒ち与えていたことである。更に元山は夢に祖筆を見て、それが直ちに現実となったという奇蹟もある。志の在る所、必ずその応報ありである。私も二十年来、元山の筆痕を求めつづけて

いたが、漸く写真の如きものを入手した。志の在る所、応報ありである。元山の書は月舟に比べると能筆といふ訳にはいかない。いかにも要領面山といわれたように綿密な大字で、筆名が多い。元山と同じように大字は少なく、筆名が多い。元山は元山に引きあわせたい。下総東昌寺(茨城東葛城郡)に在つて参徒の雲水が、一時の病癒を支えるのに苦勞し、その古淡から巖座の黙山元轟との錫問答は殊に叢林でなるとは休閑できない話として。隠之はその後、関ヶ原の妙応寺に移り、寺観新し、中興の祖といわれた。この古淡、清貧を地てい、隠之も筆痕は古淡に似合せず豪快堅固、そして茶風のものに残している。写真のように簡と大書し、あとは小字もこれと同じである。尚、隠之の場合、署名に筆号である龍藏室、或いは東昌寺の山号、六圓山主翁と書くのがあるから注意してほしい。(本文中敬称略)



▲隠之(正泉寺藏)



▲面山(正泉寺藏)

注文仏像・紫檀製仏具・大木魚・大鑿子
株式会社 宗像商会
東京都東村山市富士見町3丁目2番17号 TEL (0423) 95-8505 (代表)
岩手県盛岡市みたけ5丁目10番48号 TEL (0196) 41-3955 (代表)
函館支店 北海道函館市亀田町19-18号 TEL (0138) 43-8550
松山支店 愛媛県松山市和泉北1丁目5番20号 TEL (0899) 47-2013
一本手打一枚鑿子好評発売中
本当の一枚の材料からたたき上げた鑿子です。
洛接品とは首質が違います。
まずはお問合せ下さい。

自然の中の禅の集い

第二十五回禅の集い 信濃結束
於 塩尻市・無量寺

第十五回禅の集い 信濃結束は、長野県塩尻市無量寺を会場に、講師には昨年より引き続き、長崎県大分寺住職須田道輝老師をお迎えして、八月二十五日より二十七日の二泊三日の日程で開催された。参加者も二百名に定着して、三十一日と連続して参加している会員も多く、会場一杯に埋め尽くされた人々の整然とした流れで日程が消化されていった。

第一日目 日暮内のみならず全園からの参加者が集まり開会式、坐禅指導、食事作法と続き、薬石後には須田老師の第一回目の講話の時間となりました。今回は三日間を通して、「学道用心集」を提唱いただきました。

第二日目 四時四十分振鈴、晩天朝課作務、続き小食まのひとときを青山老師自らのお点前の野点のもとでなすがあり緊張感がほぐれぬやかな時となりました。二日目の進行の中で慣れた参禅者は、交代で典座寮の手伝いをし、給仕飯台の浄い、洗いものなど慣れない手つきながら

から一生懸命取り組んできました。午前午後共に坐禅・講話と続き午後のお茶の時間には、もまたてのついでに、お茶を兼ねた茶話会。たくさんの人でいっぱい、お茶の制限などの意見も出されたが皆余裕がなくても参加したいということ、第三日、昨日と同じ振鈴、晩天朝課・作務は室の内のお茶室で行なわれ、厨房が別棟のため、雨の中典座寮は二苦勞であったが心もつた参禅三日間に渡り、後からのご縁研究会においては、老師様にも加っていただき質疑応答の形で、ご師匠に「人倫の徳」について、曹洞宗の公案についてと積極的な質問がなされ、三日間の講話で終わらなかつた「学道用心集」の講義も来年も続けていただくよう約束して終わり、最後の坐禅を二柱坐り、日頃の雑務の中で生活から離れ、信州の自然の中の三日間の禅の集い、それが自然の中に何かを持つて日常生活に戻ってゆくこと、そして毎夏になり、また、全国で禅の集いが開催されます。この会場もたくさんの方が集まり盛況の様子ですが、あつた参加された方々が、この回からきりて坐禅から離れたくない、毎年新しい人々が多数を占めているというのが現状のようです。今回信濃結束に参加致しまして、二十五回と回数を重ねていること、又参加者も二十五回と長年続

第二十回双葉の集い

於 茅野市・検校庵

昭和四十五年第一回双葉の集いが、愛知県蒲郡市の源光寺を会場として開かれましてから十年が過ぎ、今年も第四回目に於てお話しになりました。長野県茅野市検校庵を再度会場として開催されました。各地より三歳から小学生までの

子供達三十二名が集まり、会場主様地元団員の皆様より「君」の生方保護者の方々と、たくさんの方々が集まりました。無事三日四日の日程がすぎました。毎年楽しみに参加して、くれる子供達、期待と不安の中で初めて参加する子供達、大きな子も小さな子も、嬉しな顔で、リリーダの先生方の御指導のもと、坐禅をしたり、お経を読んだり、写経をしたり、什器を使った展鉢と人顔負けの作法を一生懸命行っている姿は頭が下がります。又、工作・小諸懐古園見学・八ヶ岳山麓めぐり・プレゼント交換と楽しい企画もあり、皆が姉妹のように別れ難い四日間を過ぎました。

思えば二十年前、当時の団長様を中心におき、育った子供達が心置きなく合える場所、同じ環境で育った子供達が芽を出した双葉が、つぼみとなり、願わく

は仏弟子と成って花を咲かせ、法を相続し守つてくれますよという願ひのもとに、この集いが計画されました。初めの頃は主に尼僧寺院の子供達の参加が多かったが、徐々男子・男僧寺院の間もわたり寺子院の字でのお友達というつながりが広がり、また、最初目的が時代流に流れと共に変わって、つらつと、一度参加した子供達が、そろそろ又来年も是非行いたいと言葉を掛けて、それ以来年々、帰って行く、会員が皆がご本人道に進み、また、集いの四日間が、双葉の心の中に染みこみ込まれ、大きな花を咲かせてくれることを祈ります。就きましても、影にならぬようになり御力添えをいただきました。団員の皆様方お疲れ様でした。



須田道輝老師 学道用心集講話 (一)

印度仏教の中の尼僧 阿羅漢者のお力添えで最初の尼僧摩訶波闍波提が誕生し、次いで耶輸陀羅尼以下五百人の釈迦女の出家を請う。又、近頃では参加者を集める為に職業の職業を多く取り入れ、主になるものが何かを見失ってしまふような会もあるが、座禅と講話を主に集い、あければ、朝のお茶の時間が、心安まる時間となるのはないか。

見地から教団の律法においては両性の間に厳重な垣を設け、双方の修行成就を期すると同時に両性の素質能力の差異に基づいて、尼僧は男性に対して、絶対の尊敬を捧げ、すべて法式を行うに当っては尼僧の教団は男性の教団の監督を受け、又半月毎の教団を仰ぐことなどを前出の八敬戒に規定されている。併し、若い男僧の下風に立たされた尼僧の弟子と雖も、摩訶波闍波提、耶輸陀羅の両尼は、上座として恭敬された尼僧であり、蓮華色、法華という根上智の尼僧はその宗教生活において、その有教活動が、上座の尼僧に比べても遜色がなかったものであり、従って、尼僧の彼ら両性に対する尊重の態度においても何等相違するところもなかったのである。極端に女性蔑視をした当時の印度社会において、釈迦が摩訶波闍波提以後、絶えての女性に對してその教団の門戸を開放されたしかも高足の尼僧をして自由に説法せしめられたことは破天荒な革新であった。

洞宗の公案についてと積極的な質問がなされ、三日間の講話で終わらなかつた「学道用心集」の講義も来年も続けていただくよう約束して終わり、最後の坐禅を二柱坐り、日頃の雑務の中で生活から離れ、信州の自然の中の三日間の禅の集い、それが自然の中に何かを持つて日常生活に戻ってゆくこと、そして毎夏になり、また、全国で禅の集いが開催されます。この会場もたくさんの方が集まり盛況の様子ですが、あつた参加された方々が、この回からきりて坐禅から離れたくない、毎年新しい人々が多数を占めているというのが現状のようです。今回信濃結束に参加致しまして、二十五回と回数を重ねていること、又参加者も二十五回と長年続

自分の行動に責任を持ち、感情的になつてはいけません。○禪宗は五体をもって体験する。しかし現代はやはり理論を語らなくてはならぬ。○日常の生活そのものが悟りの世界。○これは佛がされたのではなく、そんな「機」が、めぐって来たのである。○実践すれば自然と悟りを招く。○頭が良い悪いには関係ない。本分をなすに於いては、所得に随つて、常にそれ等に対する責任を断つて、互に有無の相対観念を囚われることなく、互に悪を断じて善を修する。○欲求する四聖種を以て、修道の助縁とすべきことを指示せられたものである。○このように佛敎の規範において、尼僧としての基礎的生活の規範は、うへへは男僧と同じく四聖種であった。又教化の能力に順応しての対機説法・隨器開導・應病與藥の方針を採られたのである。○道場としての尼僧の教化人格を重視せられたことを窺い知ることが出来る。○尼僧としての釈尊と被教導者としての尼弟子との間には、師弟と男女の別とがあつたけれども、阿羅漢としての解脱智に至つては、両者一味・師資一如であつたことが明らかである。

尼僧史 (二) 阿羅漢者のお力添えで最初の尼僧摩訶波闍波提が誕生し、次いで耶輸陀羅尼以下五百人の釈迦女の出家を請う。又、近頃では参加者を集める為に職業の職業を多く取り入れ、主になるものが何かを見失ってしまふような会もあるが、座禅と講話を主に集い、あければ、朝のお茶の時間が、心安まる時間となるのはないか。

尼僧史 (二) 阿羅漢者のお力添えで最初の尼僧摩訶波闍波提が誕生し、次いで耶輸陀羅尼以下五百人の釈迦女の出家を請う。又、近頃では参加者を集める為に職業の職業を多く取り入れ、主になるものが何かを見失ってしまふような会もあるが、座禅と講話を主に集い、あければ、朝のお茶の時間が、心安まる時間となるのはないか。

尼僧史 (二) 阿羅漢者のお力添えで最初の尼僧摩訶波闍波提が誕生し、次いで耶輸陀羅尼以下五百人の釈迦女の出家を請う。又、近頃では参加者を集める為に職業の職業を多く取り入れ、主になるものが何かを見失ってしまふような会もあるが、座禅と講話を主に集い、あければ、朝のお茶の時間が、心安まる時間となるのはないか。



富尾智恵師

富尾智恵師の庭園風景。花々が咲き誇り、静かな雰囲気が漂っている。

富尾智恵師の庭園風景。花々が咲き誇り、静かな雰囲気が漂っている。

富尾智恵師の庭園風景。花々が咲き誇り、静かな雰囲気が漂っている。

富尾智恵師の庭園風景。花々が咲き誇り、静かな雰囲気が漂っている。

富尾智恵師の庭園風景。花々が咲き誇り、静かな雰囲気が漂っている。

昭和62年度全国曹洞宗青年会意識調査一報告

60. 年中行事の平均参詣者数

4. 満年令別 * ① 修正会 (年頭法要)

	標本数	4 9 人 以 下	5 0 9 9 名	1 0 0 1 4 9 名	1 5 0 1 9 9 名	2 0 2 0 2 7 9 名	3 0 3 0 3 9 名	4 0 0 4 9 9 名	5 0 0 0 名 以 上	無 回 答
全 体	100.0 359	37.6 135	19.2 69	14.5 52	3.3 12	7.5 27	5.8 21	1.4 5	2.2 8	8.4 30
20~24歳	100.0 5	20.0 1	40.0 2	-	-	-	20.0 1	-	-	20.0 1
25~29歳	100.0 46	39.1 18	17.4 8	13.0 6	4.3 2	6.5 3	2.2 1	-	2.2 1	15.2 7
30~34歳	100.0 87	41.8 28	20.9 14	14.9 10	3.0 2	6.0 4	3.0 2	3.0 2	1.5 1	6.0 4
35~39歳	100.0 101	37.6 38	20.8 21	13.9 14	3.0 3	8.9 9	6.9 7	2.0 2	1.0 1	5.9 6
40歳以上	100.0 136	35.3 48	17.6 24	16.2 22	3.7 5	6.6 9	7.4 10	0.7 1	3.7 5	8.8 12

60. 年中行事の平均参詣者数

4. 満年令別 * ③ 春彼岸会

	標本数	4 9 人 以 下	5 0 9 9 名	1 0 0 1 4 9 名	1 5 0 1 9 9 名	2 0 2 0 2 7 9 名	3 0 3 0 3 9 名	4 0 0 4 9 9 名	5 0 0 0 名 以 上	無 回 答
全 体	100.0 475	21.1 100	26.1 124	15.4 73	7.2 34	9.3 44	5.9 28	1.5 7	7.2 34	6.5 31
20~24歳	100.0 14	7.1 1	7.1 1	21.4 3	7.1 1	14.3 2	-	7.1 1	7.1 1	28.6 4
25~29歳	100.0 87	23.9 16	22.4 15	22.4 15	4.5 3	9.0 6	3.0 2	-	6.0 4	9.0 6
30~34歳	100.0 90	12.2 11	28.9 26	22.2 20	8.9 8	11.1 10	4.4 4	4.4 4	4.4 4	3.3 3
35~39歳	100.0 137	22.6 31	24.8 34	10.2 14	5.8 8	10.2 14	8.0 11	0.7 1	8.8 12	8.8 12
40歳以上	100.0 164	23.8 39	28.7 47	12.8 21	8.5 14	7.3 12	6.7 11	0.6 1	7.9 13	3.7 6

60. 年中行事の平均参詣者数

4. 満年令別 * ④ 职尊降誕会 (花まつり)

	標本数	4 9 人 以 下	5 0 9 9 名	1 0 0 1 4 9 名	1 5 0 1 9 9 名	2 0 2 0 2 7 9 名	3 0 3 0 3 9 名	4 0 0 4 9 9 名	5 0 0 0 名 以 上	無 回 答
全 体	100.0 411	42.6 175	28.0 115	12.9 53	2.7 11	3.2 13	1.7 7	0.7 3	1.5 6	6.8 28
20~24歳	100.0 87	28.6 2	14.3 1	28.6 2	-	-	-	-	14.3 1	14.3 1
25~29歳	100.0 49	44.9 22	22.4 11	10.2 5	4.1 2	4.1 2	-	-	-	14.3 7
30~34歳	100.0 88	45.5 40	25.0 22	13.6 12	2.3 2	3.4 3	1.1 1	2.3 2	1.1 1	5.7 5
35~39歳	100.0 119	37.8 45	31.1 37	15.1 18	3.4 4	2.5 3	0.8 1	0.8 1	1.7 2	6.7 8
40歳以上	100.0 144	43.8 63	29.9 43	11.1 16	2.1 3	3.5 5	3.5 5	-	1.4 2	4.9 7

60. 年中行事の平均参詣者数

4. 満年令別 * ② 涅槃会

	標本数	4 9 人 以 下	5 0 9 9 名	1 0 0 1 4 9 名	1 5 0 1 9 9 名	2 0 2 0 2 7 9 名	3 0 3 0 3 9 名	4 0 0 4 9 9 名	5 0 0 0 名 以 上	無 回 答
全 体	100.0 390	19.7 77	9.5 37	7.9 31	2.3 9	5.4 21	4.1 16	1.3 5	1.5 6	48.2 188
20~24歳	100.0 6	16.7 1	-	-	-	-	-	-	-	83.3 5
25~29歳	100.0 42	16.7 7	11.9 5	4.8 2	-	2.4 1	2.4 1	-	-	61.9 26
30~34歳	100.0 82	23.2 19	6.1 5	7.3 6	1.2 1	4.9 4	-	2.4 2	1.2 1	53.7 44
35~39歳	100.0 102	14.7 15	11.8 12	8.8 9	2.9 3	6.9 7	5.9 6	2.0 2	-	47.1 48
40歳以上	100.0 153	22.2 34	9.8 15	9.2 14	3.3 5	4.6 7	5.9 9	0.7 1	3.3 5	41.2 63

4. 満年齢別 * * 0. 実施している年中行事

Table with 14 columns: 標準数, 修正率, 涅槃会, 善後岸会, 釈尊降誕会, 花まつり, 孟蘭盆会, 秋彼岸会, 両相忌, 蓮勝忌, 成道会, 大般若会, 開山忌, 施食会, その他. Rows include 全体, 20~24歳, 25~29歳, 30~34歳, 35~39歳, 40歳以上.

4. 満年齢別 * 61. 導入しているO・A機器等

Table with 14 columns: 標準数, テレビ, ラジオ, ステレオ, ビデオ, テレダレ, 映写機, 8ミリ, スライド, 電話, コピー機, O・A機器, ビデオ, その他. Rows include 全体, 20~24歳, 25~29歳, 30~34歳, 35~39歳, 40歳以上.

4. 満年齢別 * 58. 実施している教化(伝道)活動

Table with 14 columns: 標準数, 定例説教, 法座活動, 施設伝道, 訪問伝道, 文書伝道, 掲示伝道, 視聴覚伝道, F・M放送, 文化講演, 座談会, その他, 無回答. Rows include 全体, 20~24歳, 25~29歳, 30~34歳, 35~39歳, 40歳以上.

4. 満年齢別 * 73. 実父の曹洞宗の教師資格の有無

Table with 6 columns: 標準数, 持っている, 持っていない, その他, 無回答. Rows include 全体, 20~24歳, 25~29歳, 30~34歳, 35~39歳, 40歳以上.

4. 満年齢別 * 73. (イ) 役職の意思

Table with 6 columns: 標準数, 役職を希望している, 役職を希望していない, その他, 無回答. Rows include 全体, 20~24歳, 25~29歳, 30~34歳, 35~39歳, 40歳以上.

お礼
先にお断りを致しました過去に発行された「曹青通信」を集める件ですが、全国の会員諸兄の御協力により、創刊号から六十二号まで無事全号集めることが出来ました。
今後はこれらの貴重な資料をもとに全曹青発展の為に、なお一層の努力をしていく覚悟でございます。
全国会員諸兄の御協力を心より感謝致します。

会長 伊藤道宣九拜
広報委員長 木南広峰九拜